

島根県東部で地震発生!!

1月6日に島根県東部を震源とする震度5強の地震が発生しました。多くの方が「まさか」と驚かれたと思います。DIMCOCではこれまで行ってきた院内災害訓練やマニュアルに沿って、災害対策本部の設立や各部署での災害対応を行いました。

幸い大きな人的物的被害はなく病院業務を継続することができました。迅速な初期対応を行うことができたのは、院内災害訓練や各部署の取り組みの成果と考えられます。

訓練通りにいかなかったことや、新たな課題も発見されたことと思います。より良い災害時対応が行えるよう引き続き訓練参加や日頃からの災害への意識の醸成を院内全体で取り組んでいきたいと考えます。



当日の災害対策本部の様子。訓練での成果が発揮されました。

こんにちは。看護部災害対策ワーキングです

看護部では令和7年度から新たに「看護部災害対策ワーキング」を立ち上げ、院内の災害支援ナースがメンバーとなり活動を行ってきました。

災害支援ナースとは、被災地等に派遣され、地域住民の健康維持・確保に必要な看護の提供、看護職員の心身の負担を軽減し支える活動を行う看護職です。養成研修を修了し、厚生労働省医政局に登録されています。災害支援ナースにとって、平時から所属組織における災害対策への参加や活動も重要な役割です。

自分たちに何ができるかを考え、病院の防災関連施設や備えについて理解を深める事や、災害時にあっても患者さんや職員の「いのちと暮らし」を支えるための活動を考えてきました。まだまだ少人数ではありますが引き続き、災害支援ナースとして病院の災害対策活動に寄与していきたいと思えます。

災害支援ナースとして共に活動する仲間を募集しています!!



水害時の備え、水囊について学びました



断水時のトイレ問題について考えました

災害医療・危機管理センター (DIMCOC) 内線：3040

DIMCOCサイト

災害情報を載せています。

スマホからはこちら→

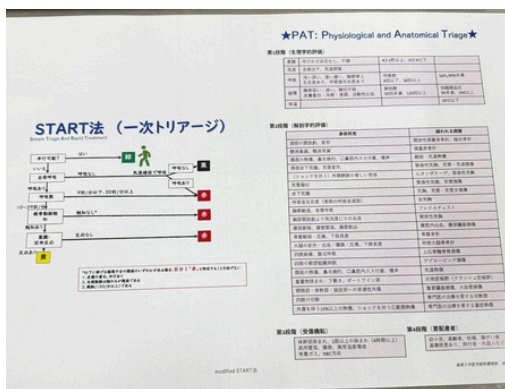


DiMCOC主催「災害対策講習」 【医師・看護師対象 災害時トリアージ】

高度外傷センター木谷昭彦医師を講師として1月19日（月）、2月2日（月）に医師・看護師向けの災害時トリアージ講習を行いました。災害時トリアージとは、災害発生時に多数の傷病者が発生し、医療資源が限られる中で、「可能な限り多くの命を救う」ことを目的として、傷病者の緊急度や重症度に応じて治療や搬送の優先順位を決定する医療行為です。

災害時トリアージ最大の目的

災害時トリアージの最大の目的は、「防ぎえた死（Preventable death）」を最小限に抑えることです。平時とは異なり、限られた医療資源で最大多数の傷病者に最善の医療を提供するために行われます。



一次トリアージ「START法」と、二次トリアージ「PAT法」について分かりやすく学びます。



トリアージとは、フランス語で「選別する」を意味する「trier（トリアー）」に由来します。

大規模災害時のトリアージの考え方と判断基準を学び、最大多数の救命を目指す講習です。

医師・看護師の方は必須の講習ですので、可能な限り受講をお願いいたします。

次回開催日時は

3月9日（月）18:15～看護学科棟1階N11

にて開催します。

受講が難しい方はDiMCOCまでご相談下さい。

編集後記：もうじき春がやってきます。

春は出会いの季節とともに別れの季節ですね。組織や部署でも異動の方々もいらっしゃるのではないのでしょうか？DiMCOC通信はそんな皆様の健康と幸せを祈っています。

